

巻頭言

「同窓会活動から地域活動へ」

顔 岡 奥 谷 英 夫

旧老人大学24期英語科～SA養成16期国際交流活動専攻コースと、2年間旧大阪府立老人総合センターで勉強させて戴いたお陰で、ボランティア活動に関心を持ち、約6年有余、同窓会吹田の役員として活動させて戴きました。平成19年からは支部長を、平成20年からは名称変更した「同窓会吹田」の会長職、及び大阪府高齢者大学同窓会連絡協議会理事長職を兼務し、双方の役員の皆さんの協力のお陰で、同窓会活動の発展に微力ながら貢献することができました。しかし私たちの周りでは、急速に進行する高齢化が惹き起こすマイナス要素を抑制し、プラス要素を生み出していける仕組みづくりが地域での緊急の課題になっています。こうした事情を踏まえ、2つの同窓会組織での役割分担を軽くさせて戴き、4月から地域の高齢クラブの会長職を引き受けることに致しました。

地域デビューを初めて約3年弱で会長を引き受けることになりましたが、前任の会長からスムーズに世代交代を果たすことができ、現在は、高齢者大学校の副理事長、実践研究部運営委員長、ゼミナール部受講生と多忙の中、高齢クラブを活性化することに陣頭指揮しています。

地域には、種々の団体が組織されていますが、高齢化が進行する中で、ボランティア活動ができ、頼られ親しまれ、個人のいきがいが醸造できる高齢クラブの活動こそが地域コミュニティを成熟させる、大きな要素だと確信しています。

しかし、地域の高齢クラブの状況は、60歳代の高齢者若手の加入が少ないことです。本来であれば、60歳代前半の団塊世代（金持ち、知恵持ち、時間持ち）を中心とした元気なシニアが入会し、組織の中心として活動すべきですが、現実には70歳代を中心とした高齢者が活動を担っています。私は、この課題を地域で、千里ニュータウン地区での共通課題として取りあげ、府老連が推奨する「若手委員会」を設立し取り組む予定です。同時に私が受講生として学ぶ「ゼミナール部」の一つのプロジェクトとして提案しており、頼られる「地域高齢クラブ」のありようの検討をおこなっています。

私は、同窓会吹田の会員の皆さんが、好奇心と体力のある間に地域の高齢クラブに入会して、皆さんの住んでいる地域を、シニア世代が住みやすい地域に変えていく原動力になって戴きたい。元気なシニア世代の皆さんが、自分たちが安心して老後を暮らせるまちづくりを、自らの手で作って戴きたいと思います。シニア世代が暮らしやすい地域は、子どもにとっても、障害者にとっても住みやすい地域だからです。

「会員名簿」に追加してください

5月度の名簿発行以後に、入会された方の名簿です。「会員名簿」に追加して、ご使用ください。(2010.6.18現在:追加加入者)

期	曜	科	氏名	郵便番号	住所	電話
28	金	美	難波久子	565-0825	山田北14-9	6876-6323
K1	金	IT	権田博	564-0032	内本町1-16-2	4860-2507
N1	水	笑	江副洋一	564-0073	山手町2-11-8-104	6384-5082
N1	水	笑	江副明子	564-0073	〃 〃	〃
24	金	美	細工雅典	565-0043	南吹田3-7-22	6384-4556
14	金	園	大野スミ子	564-0073	山手町1-22-38	6387-1192

◆お詫びと訂正

前回の名簿の中で、誤字や不備があった点をお詫びしますとともに、ここに訂正させていただきます。(敬称略)

頁	位置	誤	正
3	上 副会長欄	田村之男 ⇒ 総務	会計・企画
		広瀬弥生 ⇒ 会計・企画	総務
4	中 副区長欄	松本氏電話 6877-9244	6877-9224
5	下 住所欄	小川輝子氏 ⇒ 〃 〃	南吹田4-12-19
12	上 氏名欄	三上 清	三山 清
17	下 氏名欄	紙谷富美子	神谷富美子

急いで募集しています!

ボランティア 清掃スタッフ

◇場 所:吹田市山田東2丁目31-5(府立山田高校近く)
グループホーム たんぼぼ

◇内 容:主に清掃、その他お話し相手等

◇時 間:1~2時間程度/週1回

◇その他:駐車場あり(数台)

◇お手伝い頂ける方連絡をお願い致します。TEL:6876-5675

地域福祉活動部

12区 岩崎 弘



ことなのです。因みに先の国際会議で定めた2008年までの日本の炭酸ガス削減目標『1990年対比6%』に対して、正味の削減はわずか1%弱に過ぎないという実績が報告されています。炭酸ガスの削減は、これほど大変なことなのです。

鳩山元総理の炭酸ガス削減問題に関する功罪は、功の部分もあることを忘れてはなりません。当時リーマンショックに端を発し、百年に一度と言われた不況の最中にあり、景気対策を視野に入れた『CO₂削減』発言だったのではないかと思える節があるのです。即ち、国民にエコの重要性を知らしめ、エコを背景に産業界を後押しして景気回復を図るという狙いがあったのでは？ これは私の思い越しかもしれませんが、結果はそうだったのです。

エコポイント、エコカー、エコ家電、エコ家庭用品…何でもかんでもエコを付けければ売れる時代になったのです。面白いのは京都のあるホテルでは『エコ割引券』というものを出しているのです『エコマンシヨン』、『エコシップ』、『エコナビ』、『エコシューズ』等々、まさに景気回復の担い手となった『エコプー

ム』の到来です。鳩山元総理をこのブーム到来の立役者としてその功績を称え、引退の花道に添えたいと思います。

私の車が走行距離わずか1万kmそこそこで、タイヤに不測の損傷を受け、ディーラーの勧めで某社のエコタイヤと交換しました。カー用品店の特売タイヤより数倍高い値段でしたが、走行安定性、路面の騒音など驚くほど優れていて、上級車に乗り換えたかのような錯覚に陥るほど乗り心地が改善されたのです。なぜこのタイヤを『高性能タイヤ』という名称で売らずに『エコタイヤ』として売り込むのか全く理解に苦しみます。ここでも『エコとは何ぞや？』という疑問が湧いてくるのです。

世の中にはエコ対策に関して間違った理解をしている人が意外に多いのです。『うちではベランダで草花を栽培して、炭酸ガスの削減に協力しております』と誇らしげにいう奥様族や、『いつ来てもゴルフ場のグリーンはいいな！これで地球温暖化防止にも貢献しているのだから、一石二鳥とはこのことだね！』というゴルフファーによく出会います。皆さん心当たりはありませんか？ 実はこの人達は

植物の炭酸ガス吸収について認識不足のところがあるのです。植物は若木のうちは炭酸ガスを吸って成長するのですが、成長して老木になるともはや炭酸ガスを吸収することはおろか、木が枯れると次第に分解が進み、木の成分が炭酸ガスに変わるのです。美しい緑の芝生も草花も枯れると炭酸ガスに戻るため炭酸ガスの発生源になるのです。そのため炭酸ガスの収支はプラスマイナスゼロとなってしまうのです。

今回の表題は『地球温暖化防止対策よもやまばなし』としました。本来『よもやまばなし』とは浴衣を着て縁台で交わすような話題のことですが、本小文では『まとまりのない軽い話』という意味で使用しました。次回も『よもやまばなし』を書くつもりでおりますのでよろしくお願い致します。(終わり)



短歌

七区 二十五期 小河 陞

いつしかに風は緑の香りして

庄屋屋敷の露地目覚めたり

けたたまし救急車のサイレンに

夢からさめて外はあけぼの

到着の遅れしダイヤに今日もまた

ホームの人らヒートアイランド

五区 NI期 吉竹 君子

鶯の声に導かれ松道を

迷いて着きし花の御堂よ

生命のあるが如くに手を広げ

伸びし鉄骨マンシヨンの群れ

矢田寺の四葩に残す空の色

吉利の庭を幾度か訪ねん

俳句

十二区 二十五期 佐々木 仙舟

いかなごは折れ釘ほどの苦しみや

三位奈やさしき声の老牧師

あじさいもひとりとなりて母遊きぬ

原稿募集

会員の皆様より広く原稿を募集しております！

新入会員の方特に歓迎

- 次回『吹田だより』の発行は、9月下旬を予定しております。
- 次回原稿は、9月10日までにお送りください。(都合により次々回へ掲載が廻る場合もございますが、その節はご了承ください)
- 原稿は1,000字程度とし、適当な用紙に書いてお送りください。
- 送り先 住所：〒565-0821 吹田市山田東1-31-B712
広報部：佐々木 順次 宛 TEL/FAX: 06-6877-4636
メール：jun@sasaki.name

◆編集後記◆

今年度初めて「吹田だより」の発行と成りました。前回5月の機関紙発行は、「ニュースレター」をベースに、新しい名簿等をお送り致しました。ただ残念なのは、想定内とはいえ、会員数が減少し名簿のページ数も少なくなり、段々薄くなっていく感じがしたことです。しかしまだ新しく入会して頂ける方が、ぼちぼちではあります。今年度新規、及び再入会者は、高大人身者からの26名を含め46名の方々です。

また会員数減少のせいか、原稿の集まりも悪く、今号は16ページから一挙に12ページとなり、編集者として非常に残念に思うのと同時に、皆様に対し、誠に申し訳ない気が致しております。お許しください。次号の発行には、頑張るべく元に戻したいと思っております。

しかしながら、次回からは編集者を変更し、「吹田だより」に新しい息吹を吹き込み、機関紙の一新も考えております。それによってさらなる発展があり、一躍増ページにつながることも考えられますので、ご期待ください。

新しい会員の皆様もどうぞこの機関誌を十分に活用頂き、同窓会の行事や、イベントに積極的に参加し、より充実した日々をお送りください。また投稿もお待ちしています。佐々木記